夕刊
十二月十日發行
定價一ケ月金六拾錢　郵税共金五拾錢
廣告　一段一行金九拾錢　二段一行金一圓八拾錢　三段一行金二圓七拾錢　五段一行金四圓五拾錢　場所代金五拾錢　特殊廣告　社外掲載　社外掲載　社外掲載
發行人　磐城新聞社
印刷人　磐城新聞社
日曜祭日翌日休刊

青年の覺悟

吉田松雄

六

現代の社會にそんな亂暴者もないと思ふが若し亂暴者があつてその人間が何かの行懸り上激怒して相手の家へ暴れ込むとする。その時その家の青年が居て血氣にはやつてその亂暴者に對抗するのに亂暴を以てしたならば、恐らくその亂暴者は阿修羅のやうに更に暴れて、家の被害は却つて多くなることであらう

さうした場合に無抵抗の襟度を示すと、この亂暴者も亂暴する反撥心を失つて手持無沙汰で、拳骨と蠻勇の遣り場に困ることがあらうと思ふ。斯うした場合の光景は無抵抗觀念の穩健な勝利感であらねばならん

俺のいふ無抵抗觀念とは腑甲斐なく、意氣地なく、餘儀なく無抵抗ならざるを得ない無抵抗とは勿論違ふのである。抵抗する實力を有しながら無抵抗の裡に抵抗以上の効果を收めんとする觀念である。抵抗の動的爭ひよりも無抵抗の靜的爭ひによつて對者をして心服せしめ、畏敬せしめんとする高尚なる觀念である

俺は諸君に最早や無抵抗主義とか抵抗主義とか區別を立て、その善惡を定めてその何れに就けよと勸める必要はない。それは既に諸君自身が斯うした觀念に對して正確なる判斷が出來るからである

唯現代のやうな利己觀念と自己生存とのみを以て信條と心得る時代にあつて斯うした無抵抗的觀念を以て信ずることでも必ずしも正しくない樣な場合がある

さうした場合の自己の缺點に氣付いて自責と反省を與へる人間は餘程の教養のある人間か、或は修養に心懸けてゐる人間でなければ自己の缺點といふものに氣付くものでない

凡そ社會の事象は諸君の眼底にも俺の眼底にも正しく卒直に映じて來るが、それを判斷解剖するに當つて人間の性格と境遇と立場とは人間の心に各種の眼鏡をかけて終ふ。所謂昨日『是』としたことも今日は既に『非』とするは昨日の觀察批判が間違つてゐるか、今日の裁斷に誤りがあるかしなければならぬ。昨日『是』なるものは今日も必ず『是』でなければならぬ

時代と人物を鑑定するものである。而して大抵の場合自分の立場から見て事を行ふものであるから、自分が以つて正しいの當然のことゝ信ずることでも必ずしも正しくない樣な場合がある

自責と反省と悔恨

人間は大抵の場合、自己肯定癖である。諺に『自惚ど黴毒は誰でもある』といふ言葉は人間の自己肯定をさした適切皮肉の言葉である。尤も多くの人間の仲には宗教上の信仰から或は思想上の見地から自己否定の人間のないでもないが、それでも絶對的の自己否定者といふものはあるものでない

人間は自分の先天的性格後天的性格、境遇、特質、長所等を基礎として、而して社會百般の事物を觀察し

郷土の史的時事解説

双葉郡の熊宮と軍用金信否
所謂南朝皇胤崇拜の作傳？

鮫川漁史

4

後年に於ける足利、北條德川の如き幕府なればいざ知らず、戰亂時代に於ける上は朝廷、下は名ある武將にあつても何千何萬以上の金子などは無かつた。元亨三年末、親房卿等が義良親王を奉じて陸奥に下向し、宮城郡に國府を開いて奥羽の二大州を安輯し、暗に公家の武力的基礎を此處に樹てんとし、將來の足利尊氏の反に備へた國朝的官衙にへ、そのやうな大金は無かつたと察する。又親房が宗廣病死後、獨り常陸に漂到して坂東奥羽を節度し南朝の最後を圖らうと苦辛せられた際なりし正朝の重大營にすら、僅か二三十兩以上の軍用金を貯へることが出來なかつた。此等に比較するほどの大した問題も及ばないが、一例を示して言ふと先づ斯んなものである

熊宮に御附する御用金理瀕云々は、是亦全くの魍魎魎な妄說と斷言してよかつを試みた通りとせば、熊宮なる皇胤は實在せざる虛作南朝の最後を圖らうと苦辛に遂ひなかるべく、謂はゆる南朝崇拜より出た作爲に噴傳たるは勿論で、其の一坏の古塚てふものは、或る時代の戰死兵が合葬所か、名ある土豪の墳塋か、乃至は何かの標示の種類であらう。（昭和九年十一月三十日夜、郷土人が來訪し以上の話題に對して即筆）

潮聲硯靜抄帳

『芭蕉』

坂田守穗（代選）渡邊武門

窓ガラス夕陽に映えて

新年文藝募集

一、短歌（新年に因める歌）（山）
一、俳句（春に因めるもの）
一、童謠（同）
〆切十二月二十日、以上何れも數に制限無し

講談

戸隱奇譚　山の怪穴

丸山寛雄作
眞木浪畫

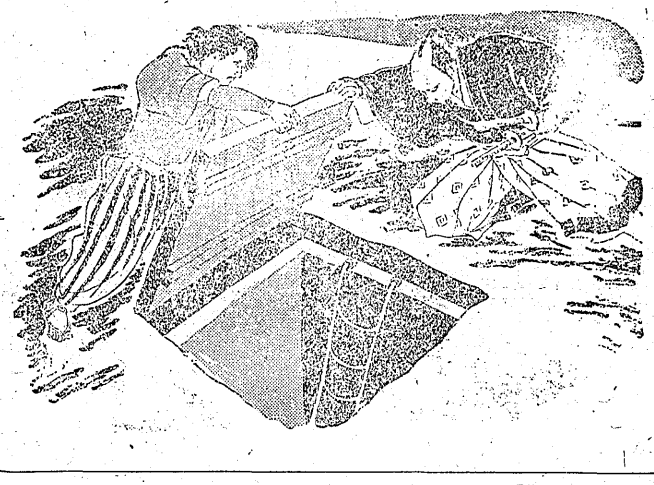
（60）

殺人不動堂（三）

彦次は怪しんで丸い輪を拾ひあげようとしたが、地に固定してゐて動かない

『變なものだの、どれ拙者が』

平七郎この輪に手をかけて力一杯に引立てるやうにした。不思議！地面が持ち上つてくる



蓋だな、抜け穴だな

平七郎はとつさに感づいて、漸くのこと三尺四方もある、厚い地盤を曳き起した

『や、こりや抜け道ですよ！』

彦次は思はず頓狂な聲をあげた

『しッ！聲を出すな。悟られぬやうにせい。中に未だ奴等が居るかも知れぬ』

二人は暗い四角な穴の底をのぞき込んだ。太い縄梯子が垂れてゐる。今の坊主二つの姿が夢のやうに現はれた

坊主だな、曲者だわい

平七郎はかう考へながら正面に悠然と腰を下した。僧の身體を見上げた。容貌は達磨顔で相當に魁偉であ

る。肩、腰、足などの肉の堅さ、頑丈さ、たゞの通り一遍の僧形でない、何か曰くある前身を持つた者に違ひないと平七郎は感づいた

『では祈願の趣きを、これにて書きとめまする故、仔細にお話し下され。この書と昂奮の入り混つた氣持ちであつた

『拙者、諸國遍歷致すものでござるが、ちと念願の筋もござれば祈願の手續きを聞き申したうござる』

平七郎は切口上で改まつた

『それは御殊勝なことでござる、上品と申すのが、あれに見えまするがん像の中に入られて祈禱なされるのぢや』

『おゝ、そのがん像とやらの祈願が靈驗あらたかだと聞いて參つた。では早速それにお願ひ致します』

平七郎は財布を探つて祈禱料を納める。所化僧は奉書紙へさらさらと筆を走らせる

やがて階段を下りた廣間に通される。やゝしばし待たされて、右手寄りの雲龍の襖が二つに割れる。平七郎はぢつと用心深く見詰めた

紫の衣、墨染の衣。この蒼白になつてゐる

『最後に祈禱して頂きたいのは拙者の捜し物の在所でござる』

平七郎はぢつと僧英仙の顔に目を注いだ

『次に、この火傷を拙者に負はせて逃げた岡庭典膳と申す者の行衛でござる。これも速かに法力をもたれて禱料を納めて遲遲致すやう切に祈禱の程お願仕ります』

この時、不審に思ふ事は書記の役目をする筈の墨染の僧の擧動である。彼は筆を手にはしたが、そのまゝ手にけいれんでも起きたか筆の穗先を紙につけない

見ればその俯向いた顔は

廣告

マグネット
ダイナモ
バッテリー
試驗機完備は確實を語る
久野電氣工業所
平紺屋町
（呼電）三六六番

防寒毛メリヤスと
七五三祝の贈りもの
婦人毛革ショール
子供毛革エリマキ
陳列ツルヤ
陳列
電一四〇

社會の今日

○竹籔の蔭あらはなる赤土の、乾きまひつゝ綴く冬晴れ　若山牧水

葡萄棚に猫すわり居る冬日かな　桃太

破芭蕉　雨となる山門くらし大芭蕉　花堂
茂堂
追章　武門
風落ちて夕しづかなり大芭蕉

『小鳥網』　酒井耕影選

小鳥網かけてひそ〳〵語りけり　花堂
畑隅にうづくまり居り霞守　武門
曉の雜木林や小鳥網

日

△平將門下野を陷る（天慶三）△澤庵禪師寂す（正保二）△若槻内閣辭表捧呈（昭和六）△政界の寵兒森恪氏逝く△十九ケ國委員會開會△露支國交回復（同七）△ポリヴィア、パラグワイ間に戰端開かる（同八）

12月11日

△12月11日

廣告

踏判定鑑寶
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神護印

▲一白の人　調子に乘れば破れも早く再起は容易ならず▲二黑の人　意外の發展は望まれれど順調に進展すべし▲三碧の人　怠慢は萎縮を呈すべく根限りの努力に吉し▲四綠の人　辛抱强く靜かに本業を守れば吉日とならん▲五黃の人　協力して事に當れば力を强め諸事成り易し▲六白の人　多少の障害ありとも氣を折らず進むに吉し▲七赤の人　大局に着がんして目前の小利に迷ふこと勿れ▲八白の人　身を愼しみ行を正しうすれば邪曲も犯難し▲九紫の人　氣運良好なれども金錢上の行違を生じ易し

十一月十一日　新曆
日曜　日時定先負　日時丙辰　日時翼宿

日出　六、四〇　月出　一〇、二五
日没　四、二八　月没後　九、二六
滿潮　前九、二〇　後七、三五　干潮　前一、五〇　後二、一五

十一日

廣告

内郷の新聞折込廣告は
山口新聞店
電話（綴）二番に御通知下されば店員が取りにまいります。

吸入用酸素
純度99%
御用度
モノサシ
マス
ハカリ
御車賃
体温計
寒暖計
◎秤ノ取引
◎緒・垂・糸・修・復致シマス
御車賃
開内藥局
電話四〇番

新發賣榮養素
チキンスープ
一合金五錢
一名出しの素
歐米各國にては既に醫界の賞讃せらるゝチキンスープは我國に初めて研究發賣せらるゝものにして「チキン」數種の野菜其他種々なる榮養素を含有せらるゝものにして病弱。兒童。保健。精力增進。榮養素にして種々の野菜煮物の出しの素には最も適して居ります
鷄肉も安價にて販賣致しますから何卒御買上の程御願ひ致します。（配達迅速）
平町材木町三十二番地（教會前）
一二得商會
チキンスープ專賣所

吉田眼科病院
平町紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

安價で効果的な天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類
◎茄果類ではトマト、茄子の如き比較的病害に弱き作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
◎如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶對にありません
一俵　參拾錢（大量取引は特に割引致します。）
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八番
貨物自動車の御用命に應じます。

移轉御轉知通

今度二丁目中野洋品店向へ移轉致しました。倍舊の御引立を願ひます。

洋服は高島屋へ

◎既製品も各種取揃へて御座います

平町二丁目通り
新店舗　高島屋洋服店
電話三八六番

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生
郡山腦病院
電話九二五番
院長
醫學士　金森五郎
入院隨時

東京株式取引所　短期實物　取引員
治角商店
電話
芽場（66）
〔三七二〕〔三七三〕〔三七五〕〔三四六〕
〔三七二〕〔三七四〕〔三四五〕〔八二四〕
東京市日本橋區兜町一ノ四電略（カ）又ハ（カクチ）
公社債、株式現物賣買

株式日報
營業安内
御報進呈
治角藥局
平町田町大通り
電話七三番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）
藤田女學校前

『入院のお需めに應ず』
齒科口腔外科
日本齒科
醫學士　鈴木喜政
内郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

◎日本石油株式會社特約店
フィジンアサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店　水戸線下館驛前（電話五五番）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油、植物油、胡麻油、コール種水、タール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）（八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
地在所
◇海上給油及油槽所
久慈濱、大津、平潟、小名濱、江名濱

貧弱信用組合の爲に
縣當局の保證方を陳情
産組が不況打開に起つ

石城産業部會は去る七日午前十時よりマルトモホールに於て石城販利、山田、大野、赤井、錦、湯本、小名濱、平窪、好間、豊間、玉川、泉、植田、四倉、江名、草野、内郷、渡邊、大浦、勿來各組合(五組合欠席)五十餘名出席の下に不況對策協議會を開催し

物資配給、資源助成、資金融通、備荒貯金實行、農業倉庫利用奬勵等に就き協議し、農民の親なる相談地に於ける産業組合の資金借入に關し縣知事宛左記決議文を送付縣保證を要望した

本年度縣内農山村に於ける稀有の凶作と爾價暴落の罹災とは農林産物を資源として生活する者に對しては過酷の痛撃にして農民全般の等しく心痛に不堪所なり、而して之が對策の樹立に就いては産業組合は自ら其の資力と信用とに依り所屬組合員の經濟及産業の改善更生の爲奮然として立つべき秋なるも如何せん資力薄弱なる組合にありては自己の白地信用を以て資金の調達困難の狀態にあるを以て本年度に於ける凶作對策の爲縣信用組合聯合會より資金借入を要する組合に對しては縣の保證を仰ぎ資金の供給を計り今次の凶歉に對する打開の途を講ぜしめらるる樣其の筋に要望するもの

右決議す

昭和九年十二月七日

産業組合中央會福島支會石城郡部會長　青沼鋒太郎

。。。